

平成29年度 決算報告

平成29年度決算が、平成30年9月定例町議会で承認されました。

決算は、私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしのなかで、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。平成29年度はどのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

問合せ▶ 役場企画財政課財政係

☎ 049 (295) 2112 ㊟ 324

一般会計

一般会計歳入（入ったお金）

99億9,623万8千円

(単位/千円)

項目		29年度決算	前年度増減額	
自主財源	町税	36億 559万9	△974万0	
	繰越金	3億2,707万4	△1億9,439万7	
	繰入金	4億6,692万0	2,111万0	
	その他	分担金及び負担金	9,973万0	594万0
		使用料及び手数料	6,665万7	△517万1
		財産収入	1,397万7	722万5
		寄附金	864万5	△141万0
		諸収入	9,668万5	△3,346万9
	依存財源	地方交付税	20億4,634万3	436万2
国庫支出金		10億7,179万4	5,661万2	
町債		6億8,731万8	△4億2,503万2	
その他		県支出金	6億8,409万4	1,818万0
		地方消費税交付金	5億6,081万0	2,187万3
		地方譲与税	9,550万2	13万6
		地方特例交付金	1,580万2	△26万9
		自動車取得税交付金	3,960万1	955万7
		ゴルフ場利用税交付金	5,393万1	△1,151万4
		利子割交付金	595万7	219万1
		株式等譲渡所得割交付金	2,217万1	1,267万8
		配当割交付金	2,038万0	474万7
		国有提供施設等所在市町村助成交付金	275万5	△4
交通安全対策特別交付金	449万3	△3万1		
合計	99億9,623万8	△5億1,642万6		

一般会計歳出（使ったお金）

96億4,458万9千円

(単位/千円)

項目		29年度決算	前年度増減額	
自主財源	民生費	36億3,849万5	2,960万9	
	教育費	11億2,000万5	△3億6,186万1	
	総務費	11億6,159万0	△4,199万1	
	土木費	7億5,793万1	△4,106万2	
	公債費	8億8,305万5	7,060万4	
	衛生費	7億2,845万5	△1,246万7	
	消防費	6億1,339万0	△2億1,240万4	
	農林水産業費	2億 897万6	9,044万1	
	その他	議会費	1億1,013万0	△6万1
		商工費	5,385万9	△1,267万1
		労働費	3,003万2	0
		災害復旧費	0	0
		諸支出金	3億3,867万1	△4,913万7
	合計	96億4,458万9	△5億4,100万0	



特別会計

町の会計は、「一般会計」と「特別会計」に分けられています。

一般会計は、特別会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計。特別会計は、特別な財源を特定の支出に充てて経理を行うものです。毛呂山町の特別会計には国民健康保険・農業集落排水事業・介護保険・後期高齢者医療と、企業会計である水道事業会計があります。

平成29年度

特別会計歳出入・企業会計収支

(単位/千円)

区分	歳入(収入)	歳出(支出)	差引額	
国民健康保険	51億9,688万3	50億0,578万9	1億9,109万4	
農業集落排水事業	2,908万3	2,705万6	202万7	
介護保険	22億1,936万3	21億3,831万0	8,105万3	
後期高齢者医療	3億8,579万7	3億7,888万9	690万8	
水道事業	収益的収支	7億8,379万2	7億2,006万2	6,373万0
	資本的収支	1億1,885万9	4億3,896万4	△3億2,010万5

平成 29 年度の 主な事業



住民と行政の協働によるまちづくり

住民が正確な情報を共有し、隣近所で活発な住民活動が展開でき、さらに男女共同参画や住民の交流活動を促進し、簡素で効率的な行政財政運営や広域的なまちづくりを推進しました。

コミュニティ協議会補助金	181万円
広報等印刷事業	558万8千円
区運営費補助金	434万3千円

健康で安心して暮らせるまちづくり

地域における支え合いを基盤として、一人ひとりに対応できるきめ細やかな健康づくり活動や、少子高齢社会などに対応する福祉活動を支援しました。

こども医療費	9,168万3千円
児童手当	4億5,350万円
介護給付費・訓練等給付費	5億516万6千円

自然と共生した安全で快適なまちづくり

美しい景観づくりや水辺環境の創造を進め、また、防災対策の充実をはじめとし、防犯活動や交通安全などを住民と協働して推進し、環境に配慮した快適な生活の実現を支援しました。

埼玉西部環境保全組合負担金	3億9,270万3千円
町道第1224号路線道路改良工事	4,354万5千円
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合負担金	4億994万5千円

元気に仕事ができるまちづくり

住民が元気に仕事ができるまちづくりのために、農林業、観光、商工業の振興支援を実施しました。

農道用排水路等整備事業	2,112万1千円
観光事業	1,843万2千円
商工会補助金	754万円
農産物加工センター増築工事	3,587万8千円

学びを未来に活かすまちづくり

生涯学習の支援や、一人ひとりに応じた教育の充実を図るため、家庭、地域、幼稚園、保育園、小学校、中学校間の連携と、本町ならではの特色ある教育を推進しました。

川角中学校体育館大規模改造工事	2億1,054万6千円
中学校武道場吊り天井落下防止対策工事	2,751万6千円
東公民館外壁改修工事	3,469万6千円



町民 1 人あたりに使われたお金は、28 万 3,907 円でした

※一般会計より。平成 30 年 3 月 31 日現在の人口 3 万 3,971 人で計算

健全化判断比率

平成 19 年度決算から財政健全化法に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の 4 つの指標の公表が義務づけられました。毛呂山町の健全化判断比率は、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、数値的にも健全性を示しています。

平成 29 年度健全化判断比率

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
毛呂山町	—	—	6.1	49.2
早期健全化基準	14.16	19.16	25.0	350.0

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字の場合は算定しません。

実質赤字比率 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

連結実質赤字比率 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率

実質公債費比率 一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率

将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

用語解説

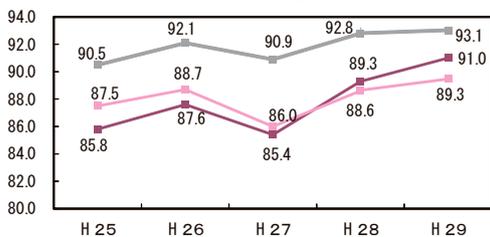
経常収支比率 財政構造の弾力性を測定する比率。この比率は、経常一般財源（毎年度経常的に収入される財源）のうち、義務的性格の経常経費（人件費や扶助費のように毎年度経常的に支出される経費）に充当されたものが占める割合。80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられている。

財政力指数 地方公共団体の財政力を示す指数。財政力指数が単年度で 1 を超える場合には、自立して財政運営ができることを示し、普通交付税の不交付団体となる。財政力指数が 1 に近いほど、自主財源の割合が高いことを示し、財源に余裕があることになる。

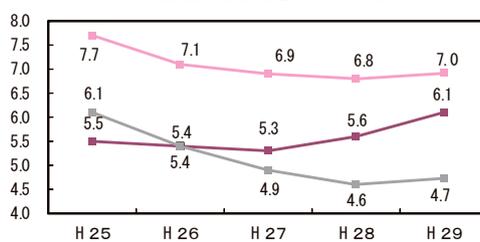
実質公債費比率 町の借入金返済額（元金や利子）などの財政負担の大きさを表す比率。

将来負担比率 借入金の残金など、町が将来支払わなければならない負担の大きさを表す比率。

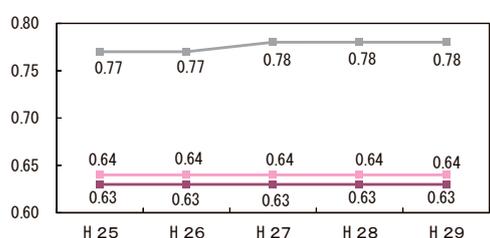
経常収支比率の推移



実質公債費比率の推移



財政力指数の推移



将来負担比率の推移

